

調査票 1

都道府県・ 政令指定都市名	10 群馬県
------------------	--------

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する組織

局 部 課 (室) 名	生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課
担 当 職 員 数	10 人 (専任 4 人、兼任 6 人)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	群馬県男女共同参画推進協議会
設 置 年 月 日 ・ 根 拠	平成 10 年 4 月 23 日 根拠: 群馬県男女共同参画推進協議会設置要
長 の 役 職	知事

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

会 議 の 名 称	群馬県男女共同参画推進委員会
設 置 年 月 日	平成 16 年 10 月 1 日
構 成 員	15 人 (女性 9 人、男性 6 人)

4 男女共同参画に関する計画

計画期間	平成 28 年 4 月 ~ 33 年 3 月
名 称	群馬県男女共同参画基本計画(第4次)
改定・見直しの予定時期	平成 33 年 4 月 日
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)の推進計画と一体である	※いずれか1つに○をつけてください。
女性活動推進法の推進計画と別に作成	○

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	群馬県男女共同参画推進条例
	公 布 日	平成 16 年 3 月 24 日
	施 行 日	平成 16 年 4 月 1 日
	最 終 改 正 日	平成 年 月 日
	改 正 内 容	
	改正が予定されている場合、改正予定時期:	平成 年 月
無の場合	制定等について検討中(状況を具体的に)	
※ どちらかに○をつけてください。	特に検討していない	

調査時点コードを以下より選択してください

6 審議会等委員への女性の登用	1:平成29年4月1日	2:平成29年5月1日	3:その他:平成29年3月1日
目標値	平成 32 年度まで 40 %以上(構成員の男女比については均衡を要する)		
根 拠	群馬県男女共同参画基本計画(第4次)		
目標設定の対象である審議会等の範囲	法律、政令、条例に基づき設置している審議会のうち、群馬県が定める「各種審議会・委員会等への女性の参画促進要領」に基づき一部除外したもの及び行政委員会		
目標設定の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード 3 審議会等数(90)うち女性委員を含む審議会等数(86) 延総委員等数(994)延女性委員等数(370) 女性比率(37.2)		
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード 3 審議会等数(97)うち女性委員を含む審議会等数(88) 延総委員等数(1,318)延女性委員等数(372) 女性比率(28.2)		
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(※)	調査時点コード 3 審議会等数(35)うち女性委員を含む審議会等数(32) 延総委員等数(658)延女性委員等数(205) 女性比率(31.2)		
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード 3 審議会等数(8)うち女性委員を含む審議会等数(6) 延総委員等数(55)延女性委員等数(13) 女性比率(23.6)		
目標値以外の目標設定	なし		
女性登用方針	人材名簿作成の有無 有 ○ (公表 ○ ・非公表) ・無 作成予定有		
	掲載人数 307 人 (平成 29 年 4 月現在)		
	人材育成事業の実施の有無 有 ○ ・無 委員の公募 有 ○ ・無 そ の 他 (・人材名簿については、「一部公表」を行っている)		

注(※) 平成29年3月時点で法律又は政令により設置義務がある審議会のうち内閣府が把握したもの
(参照:別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

7 女性公務員の採用・登用状況

調査時点コードを以下より選択してください

(1)-1管理職の在職状況	1:平成29年4月1日	その他:平成 年 月 日											
管理職総数(※)	女性比率	女性管理職の内訳											
(人)	(%)	部局長相当職											
(A)=(C+E+G)	(B)=(D+F+H)	(人)	うち女性数(D)	女性比率	次長相当職	課長相当職							
		(人)			(人)	うち女性数(H)	女性比率						
本庁	計	383	28	7.3	16	2	12.5	30	0	0.0	337	26	7.7
	うち一般行政職	302	25	8.3	16	2	12.5	10	0	0.0	276	23	8.3
支庁・地方事務所等	計	566	49	8.7	0	0		29	0	0.0	537	49	9.1
	うち一般行政職	373	11	2.9	0	0		16	0	0.0	357	11	3.1
全体	計	949	77	8.1	16	2	12.5	59	0	0.0	874	75	8.6
	うち一般行政職	675	36	5.3	16	2	12.5	26	0	0.0	633	34	5.4
再掲	警察関係	87	1	1.1	0	0		24	0	0.0	63	1	1.6
	教育委員会	63	2	3.2	0	0		3	0	0.0	60	2	3.3

注(※) 管理職総数の欄は自動計算されますので入力しないでください。

(1)-2職務上の地位別職員在職状況

調査時点コードを以下より選択してください

		1:平成29年4月1日			その他: 平成 年 月 日		
		課長補佐 相当職 (人)	うち女性 数 (人)	女性比 率	係長相当職 (人)	うち女性 数 (人)	女性比 率
本庁	計	282	24	8.5	1,465	298	20.3
	うち一般行政職	222	20	9.0	726	197	27.1
支庁・地方事 務所等	計	324	62	19.1	2,273	588	25.9
	うち一般行政職	194	22	11.3	912	231	25.3
全体	計	606	86	14.2	3,738	886	23.7
	うち一般行政職	416	42	10.1	1,638	428	26.1
再掲	警察関係	76	5	6.6	1,384	135	9.8
	教育委員会	50	6	12.0	297	70	23.6

(1)-3新規昇任者数

平成28年4月1日～29年3月31日

		課長相当職			課長補佐 相当職			係長相当職		
		(人)	うち女性 数 (人)	女性比 率	(人)	うち女性 数(人)	女性比 率	(人)	うち女性 数(人)	女性比 率
本庁	計	32	2	6.3	76	7	9.2	135	27	20.0
	うち一般行政職	24	2	8.3	57	5	8.8	59	20	33.9
支庁・地方事 務所等	計	106	8	7.5	56	9	16.1	96	37	38.5
	うち一般行政職	79	1	1.3	32	5	15.6	37	17	45.9
全体	計	138	10	7.2	132	16	12.1	231	64	27.7
	うち一般行政職	103	3	2.9	89	10	11.2	96	37	38.5
再掲	警察関係	13	0	0.0	24	2	8.3	113	10	8.8
	教育委員会	3	0	0.0	3	1	33.3	4	1	25.0

(1)-4昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

考慮要素としている事項すべてに○を記入してください。

	勤務 成績	昇任 試験		昇格 試験		部局等の 推薦	経年 数	遠隔地 での長 期研修 (4週間 以上)	遠隔地 での 勤務経験	本人の希 望	その他(具体的に記入ください)
		面接 のみ	それ 以外	面接 のみ	それ 以外						
課長級	○					○				○	
補佐級	○		○			○	○			○	
係長級	○		○			○	◎			○	

(1)-5昇任・昇格試験の受験者数

平成28年4月1日～29年3月31日

	全受験者 数(人)	女性受験 者数(人)	女性受 験率 (%)
昇任試験	2,037	162	8.0
昇格試験	0	0	

(2)女性公務員の採用状況

平成28年4月1日～29年3月31日

	総数 (人)	うち女性 数(人)	女性比率 (%)
全体	405	128	31.6
うち上級	263	71	27.0
うち一般行政職	155	52	33.5
うち上級	143	47	32.9
うち警察関係	168	32	19.0
うち上級	91	17	18.7

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

※複数の施設がある場合、2件目以降は、次のシート(調査票1(2))に記載してください。

名 称	ぐんま男女共同参画センター			愛称・通称	とらいあんぐるん	
設置年月日	平成	21	年 4 月 1 日	施設形態	○	単独施設 複合施設
所在地等	郵便番号：371-0026 住 所：群馬県前橋市大手町1-13-12 電話番号：027-224-2211 FAX番号：027-224-2214 ホームページ：http://www.pref.gunma.jp/07/p03100039.html					
管理・運営主体 ※1～2について、該当するものに○をつけ、記入してください。	1. 施設管理	○	直営(担当部局名：群馬県(ぐんま男女共同参画センター)) 指定管理者(名称： その他(	)))		
	2. 事業運営	○	直営(担当部局名：群馬県(ぐんま男女共同参画センター)) 指定管理者(名称： その他(	)))		
職 員 数	常勤	4	人、非常勤	5	人	予算額 平成29年度 20,412 千円
主な事業 〔男女共同参画・女性に 関するもの〕	*実施しているものに○を付し、主な事項を記入してください。 ○ 1. 広報啓発(主な事項 センター通信の発行、スポットCM、県ホームページからの情報発信) ○ 2. 講座(主な事項： 女共同参画セミナー(大学連携講座・実践講座)、女性のチャレンジ支援講座、男性向け講) ○ 3. 相談事業(主な事項 家族間の役割や協力関係、女性の自立・能力発揮、性差に関する悩み等の相談) ○ 4. 情報収集・提供(主な事項： 図書・資料の収集、貸し出し) ○ 5. 苦情処理(主な事項) ○ 6. 交流促進(主な事項 登録団体制度(協働事業・交流会等)) ○ 7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ(主な事項： 女子高校理工系系チャレンジ支援セミナー(企業訪問)) ○ 8. 国際交流・海外派遣事業(主な事項：) ○ 9. 調査研究(主な事項 男女共同参画データブック(男女共同参画の視点から県内の統計データを収集)) ○ 10. その他(主な事項： 貸室事業)					

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称				基金・基本財産額	千円
設置年月日	平成	年	月	日	出資者

10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)とのネットワーク

各種女性団体連絡協議会等の有無	○ 有 無 名称等：群馬県女性団体連絡協議会	加盟団体数	24団体	
		会 員 数		
地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	有 ○ 無			
活 動 内 容 ※実施しているものに○をつけてください。	○ 1. 定例会議(情報交換会等)の開催 2. 機関誌の発行 3. 広報啓発パンフレット作成 4. その他 内容：			

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するものに○をつけてください。

- 1. 担当者連絡会議の開催
- 2. 市町村職員研修会の開催
- 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催
- 4. 関係情報の収集提供
- 5. 審議会等女性登用の働きかけ
- 6. 補助金等の交付

名 称 :	
概 要 :	
- 7. その他

内 容 :	
-------	--

12 職員研修の実績状況 ※実施しているものに○をつけてください。

(1) 男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

○ 1. 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等を実施
2. 一般職員研修に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ
3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣
4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施

(2) 女性職員の研修受講への配慮

○ 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施
2. 研修受講職員男女比を配慮
3. その他 内容:

13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	28年度予算 (千円)	29年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	99,647	92,700	
上記関係予算が一般会計予算総額 に占める割合	0.01380 %	0.01279 %	
男女共同参画・女性のための施設整備費	0	0	

14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況

※該当するものに○をつけてください。

項目の設定	国の取組に準じた設定
1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	
4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定(○の場合は(1)～(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	○
(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	
(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	○
(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	
(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
(5) その他(内容:)	

↓ 上記1～4で「○」の場合は、下記の「具体的項目」で該当する項目欄に○を付けてください。

1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入などの競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等の項目の設定
① 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用促進法」という。)に基づく「ユースエール」認定を取得			
② 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○		
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)		○	○
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得	○	○	○
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目			
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目			
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)			
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)			
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組			
⑩ 短時間正社員制度の導入			
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組			
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①～④を除く)			
⑬ その他			

15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

実施の有無	企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
1 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得	○	○
2 女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○	○
3 役員に占める女性割合に関する項目		
4 管理職に占める女性割合に関する項目	○	○
5 役員や管理職への女性の登用促進のための取組	○	○
6 その他「登用促進等」に関する項目	○	○
7 仕事と育児・介護を両立するための取組	○	○
8 ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組	○	○
9 短時間正社員制度の導入	○	○
10 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組		
11 ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)		
12 その他		

→ 「企業の登録・認定・認証制度」有りの場合、具体的名称: 群馬県いきいきGカンパニー認証制度

→ 「企業の表彰制度」有りの場合、具体的名称: 群馬県いきいきGカンパニー優良事業所表彰

※具体的名称の後に()を付し、当該()の中に該当する選定等の基準番号を記入してください[例→●●表彰(1)、△△表彰(8、10)など]

16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 ある	○	→ 女性活躍推進法第23条の「協議会」に該当する場合、その具体的名称 女性活躍・働きやすい職場環境づくりプロジェクトチーム
2 現在はないが、今後検討する		その他の場合、その具体的名称 ぐんま女性活躍大応援団実行委員会

17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	○ 有 無	名 称 群馬県男女共同参画データブック
公表周期	1 年	不定期
公表主体 ※該当するものに○をつけてください。	1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室) 2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室) 3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者 ○ 4. その他	ぐんま男女共同参画センター)

18 平成29年度実施予定事業 ※該当する予定事業がない場合は、記入欄に記入しないでください。

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発			
・ ぐんま女性活躍大応援団	女性活躍を応援する企業・団体を登録団体とし、登録団体からの女性活躍応援メッセージをホームページ等で発信	200人	通年
・ ぐんま女性活躍推進フォーラム	地域ぐるみで女性活躍応援の輪を広げることを目的に、講演会・シンポジウムを開催		11月
・ ロールモデル発信(ぐんま学生会議)	県内大学と連携し、企業等で活躍し、ワークライフバランスを実践している男女ロールモデルを訪問、インタビューを行い、情報発信	県内8事業所	7月～12月
・ DV被害者支援等事業	啓発リーフレット及びカードの作成、配布		1月
・ 県ホームページ	人権男女・多文化共生課、ぐんま男女共同参画センターで主催する事業等を発信		随時更新
・ センター通信「とらいあんぐるん」の発行	センターで主催する事業や男女共同参画を目指して活躍する人を紹介する広報紙を発行	3,000部／1回	年4回
・			
・			
2. 表彰			
・ ぐんま輝く女性表彰	女性の活躍推進として顕著な活動を行い、女性にとって身近なモデルとして活躍が見込まれる団体・個人、それらを支援する団体・個人を表彰		11月
・			
3. 講座			
・ ぐんま女性ネットワーク会議	各分野で活躍する女性を構成員とした会議を設置し、男性にとっての男女共同参画会議と連携し、若年層向けの啓発資料を作成	11名	6月～10月
・ 男性にとっての男女共同参画会議	男女共同参画について関心のある男性を構成員とした会議を設置し、ぐんま女性ネットワーク会議と連携し、若年層向けの啓発資料を作成	9名	6月～10月
・ DV被害者支援等事業	中学校・高校・大学へのDV防止啓発講座	10～20校 3,000人	通年
・ DV被害者支援等事業	学校指導者に対するDV研修		
・ とらいあんぐるん大学連携講座	男女共同参画の視点から社会を見つめ直す機会を提供する講座(東京家政大学女性未来研究所と共催)(全4回)	延べ280人	H29.9.30 H29.10.7 H29.11.5 H29.11.1
・ とらいあんぐるんLGBT講演会	性的少数者に対する正しい理解・認識を深め、本県における多様な性のあり方を認め合う社会づくりの輪を広げていくことを目的とした講演会(全4回)	各回100人	H29.7.20 H29.8.6
・ とらいあんぐるん防災基礎講座	防災・減災に対する基礎的な知識と心構えを学ぶとともに災害対応時には男女両方の視点が必要であることを知っていただくための講	80人	H29.5.26
・ 県新規採用職員研修	県新規採用職員を対象とした、専門家による男女共同参画に関する基礎的講義	135人	H29.5.26
・ 男性のワークライフバランスセミナー(家庭参画)	「仕事と家庭の両立」をテーマに、これからの男性の育児参加、家事参加について考え、学ぶことを目的とした講座	20組	H29.12.3
・ 男性のワークライフバランスセミナー(介護)	「仕事と介護の両立」をテーマに、これからの男性の介護について考え、学ぶことを目的とした講座	30人	未定
・ 男女共同参画実践講座	講義や演習、男女両方の視点を活かした地域における実践活動のポイントを学ぶ。	15人	H30.1～2月頃
・ 女子高校生理工系系チャレンジ支援セミナー(リコ・チャレ・ぐんま2017)	女性の進出が少ない理工系分野の進路選択の魅力を伝えるため、「企業訪問」「保護者向け講演会」「生徒向け講義と実験」を実施	延べ100人	H29.8.3 H29.9.12 H29.10.2
・ 女性のためのハッピーキャリアセミナー	女性のキャリア(スキル)アップのための参加型セミナー。ワークショップで得る「気づき」を次の自	延べ60人	H29.9.2 H29.11.1
・ とらいあんぐるんサロン(女性の交流・ネットワーク事業)	起業等のキャリアアップをめざす女性たちによる、ネットワークを構築し、情報交換等による女性の交流・キャリア形成を支援(全3回)	各回30人	H29.8.19 H29.10.14
4. 相談事業			
・ 女性相談センターによる相談事業	パートナーからの暴力等に対する相談対応		4000
・ とらいあんぐるん相談室	女性が生活の中で抱える不安や悩みについて、専門の相談員が電話による相談を中心に実施	1,000件	通年
・			
5. 情報収集・提供			
・ 図書館運営	男女共同参画に係る資料(図書・行政資料・雑誌・映像資料等)を収集し、貸出しを実施	-	通年
・			
6. 苦情処理			
・ 条例に基づく意見の申し出制度	男女共同参画に関する意見の申し出対応		通年
・			
7. 交流促進			
・ ぐんま女性ネットワーク会議(再掲)	各分野で活躍する女性を構成員とした会議を設置し、男性にとっての男女共同参画会議と連携し、若年層向けの啓発資料を作成	11名	6月～12月
・ 男性にとっての男女共同参画会議(再掲)	男女共同参画について関心のある男性を構成員とした会議を設置し、ぐんま女性ネットワーク会議と連携し、若年層向けの啓発資料を作成	9名	6月～12月
・ 登録団体交流会	男女共同参画に資する活動を行う団体をセンターで登録。情報交換等を行うため交流会を開催	30団体	H29.9.3
・ 登録団体との協働事業	男女共同参画社会の形成に向けた活動を行っているグループ・団体と連携・協働し事業を開催	6団体6事業	随時
・			
・			

8. 企業・NPO法人との連携・働きかけ ・ 男女共同参画推進員設置 ・ 女子高校理工工系チャレンジ支援セミナー(企業訪問) ※1「リコ・チャレ・ぐんま2017」の1回 ・ 9. 国際交流・海外派遣事業 ・ 10. 調査研究 ・ 男女共同参画データブック ・ 11. その他 ・ 貸室事業 ・	企業における男女共同参画を推進するため、推進員を選任してもらい、情報提供を実施。(問15群馬県いきいきGカンパニー認証制度と ^{より積極的} 社会で活躍中の女性技術者に直接体験談を聞く企業訪問を実施	464事業所(H29.6) 20人	通年 H29.8.3
	男女共同参画の視点から取りまとめた県内の統計データの更新	—	通年
	男女共同参画社会の形成に向けた活動を行う団体等に活動の場を ^{提供}	延べ24,000人	通年

19 都道府県議会の議員の両立支援体制に関する調査

※該当する時点の番号に○をつけてください。
1:平成29年4月1日 その他: 平成 年 月 日

議 会 名	群馬県議会		
問1. 議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休を含む)がありますか。1～3のいずれか一つを選択してください。	1. 欠席事由として明記した規定がある。 2. 欠席事由として明記した規定はないが、運用上出産に伴う欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他(欠席の例がない、不明等)	1	
問2. 問1. で、1を選択した場合にお伺いします。 「欠席事由として明記した規定」とは、どのような規定ですか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※標準会議規則については下記を参照してください ※標準会議規則と、全く同じでなくても、条文の構造が同じであれば「同様」を選択してください。	1. 標準都道府県議会会議規則と同様。 2. 標準市議会会議規則又は、標準町村議会会議規則と同様。 3. その他	1	
【参考】 標準都道府県議会会議規則 第二条 議員は、公務、疾病、出産その他の事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 標準市議会会議規則 第2条 ② 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。 標準町村議会会議規則 第二条 2 議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。			
問3. 議会の欠席事由として、議員の仕事と生活の両立の観点からの事由(例:配偶者の出産、育児、介護等)を明記した規定はありますか。以下の事由について1～3のいずれか一つを選択してください。			
	1 明記した規定があり、正当な欠席事由として認めている。 2 明記した規定はないが、運用上で正当な欠席事由と認めている。 3 その他		
配偶者の出産	2		
育児	2		
家族の看護	2		
家族の介護	2		
疾病	2		
その他 (具体的に事由を記載してください)	3		
問4. 問3で1(明記した規定あり)を選択した場合にお伺いします。当該規定(規則、条例等)の該当部分の規定を記入(または別添)してください。 ↓ ※ 条 項 号まで記入してください。			
規 則 名			
該当部分の条文(本文)を記入(または別添)してください。			

以下のデータの調査時点をお答えください。(該当する時点に○をつけ、その他の場合は調査年月日も記入してください。)

平成29年4月1日現在

平成29年5月1日現在

その他：平成29年3月1日現在

○

1 都道府県における首長等の状況 ※在任期間(任期)は予定を記入してください。

知事	女性 ○ 男性	任期: 平成 27 年 7 月 28 日 ~ 平成 31 年 7 月 # 日
副知事	2 人 (女性 人、男性 2 人)	

2 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

*平成29年4月1日現在で設置義務のある審議会等のうち、29年3月に内閣府が把握したものを掲載しています。

変更・廃止等がある場合は、該当する審議会等の備考欄にその旨記入してください。また、新たに追加された審議会等がある場合には、48以下の空白行に記入してください。

審議会等名 (現在設置していないもの、審議会委員の任命を行っていないものには番号の前の欄に×を記入してください)	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
1 都道府県防災会議(会長を含む)	47	4	8.5	
都道府県防災会議(委員のみ)	46	4	8.7	
内 1号 当該都道府県の区域の全部又は一部を管轄する指定地方行政機関の長又はその指名する職員	13	0	0.0	
2号 当該都道府県を管轄区域とする陸上自衛隊の方面総監又はその指名する部隊若しくは機関の長	1	0	0.0	
3号 当該都道府県教育委員会の教育長	1	0	0.0	
4号 警視総監又は当該都道府県の道府県警察本部長	1	0	0.0	
5号 当該都道府県の知事がその部内の職員のうちから指名する者	3	0	0.0	
6号 当該都道府県の区域内の市町村の市町村長及び消防機関の長のうちから当該都道府県の知事が任命する者	4	0	0.0	
7号 当該都道府県の地域において業務を行う指定公共機関又は指定地方公共機関の役員又は職員のうちから当該都道府県の知事が任命する者	20	2	10.0	
8号 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうち当該都道府県の知事が任命する者	3	2	66.7	
2 国土利用計画地方審議会	14	6	42.9	
3 土地利用審査会	6	3	50.0	
4 都道府県交通安全対策会議	13	0	0.0	
5 自然環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 自然環境保全審議会) ※6の審議会と統合している場合は6に人数を記入。当欄は空欄とし、備考欄に「6と統合」と記入する。	23	10	43.5	
6 環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 環境審議会)	22	8	36.4	
7 精神医療審査会	28	6	21.4	
× 8 都道府県生活衛生適正化審議会				調査時点、委員選任なし
9 都道府県医療審議会	23	7	30.4	
10 准看護師試験委員会	10	5	50.0	
× 11 麻薬中毒審査会				調査時点、委員選任なし
12 地方社会福祉審議会	34	12	35.3	
13 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	21	8	38.1	
14 国民健康保険審査会	9	2	22.2	
× 15 都道府県農業共済保険審査会				調査時点、委員選任なし
16 都道府県森林審議会	14	6	42.9	
17 都道府県建設工事紛争審査会	12	6	50.0	
18 建築審査会	7	3	42.9	
19 都道府県建築士審査会	7	3	42.9	
20 都道府県都市計画審議会	15	3	20.0	
21 開発審査会	7	3	42.9	
22 私立学校審議会	14	6	42.9	
× 23 石油コンビナート等防災本部				
× 24 公害健康被害認定審査会				
× 25 窒素酸化物総量削減計画又は粒子状物質総量削減計画に定められるべき事項について調査審議する協議会(旧 総量削減計画策定協議会)				
× 26 都道府県児童福祉審議会				
× 27 地方港湾審議会				
× 28 土地区画整理審議会				
29 教科用図書選定審議会	15	7	46.7	
30 介護保険審査会	15	5	33.3	
31 都道府県固定資産評価審議会	11	4	36.4	
32 感染症の診査に関する協議会	25	2	8.0	
33 警察署協議会	160	71	44.4	
34 土地収用事業認定審議会	7	3	42.9	
35 住民基本台帳法 本人確認情報の保護に関する審議会	5	2	40.0	
36 国民保護協議会	30	1	3.3	
× 37 地方独立行政法人評価委員会				
× 38 市街地再開発審査会				
× 39 都道府県職員委員会				
× 40 自然再生協議会				
41 審議会その他の合議制の機関(※公益認定等)	5	2	40.0	
42 後期高齢者医療審査会	9	2	22.2	
43 留置施設視察委員会	4	1	25.0	
44 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の協議並びに実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整を行うための協議会	22	1	4.5	
45 指定難病審査会	9	0	0.0	
46 小児慢性特定疾病審査会	3	0	0.0	
47 行政不服審査会	3	1	33.3	
48 国民健康保険運営協議会	9	2	22.2	
49				
50				
51				
合 計	658	205	31.2	
女性委員0の審議会数	3			

3 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数

	委 員 会 等 名	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
1	教育委員会	6	2	33.3	
2	選挙管理委員会	4	1	25.0	
3	人事委員会	3	1	33.3	
4	監査委員	4	0	0.0	
5	公安委員会	3	0	0.0	
6	都道府県労働委員会	15	2	13.3	
7	収用委員会	7	3	42.9	
8	海区漁業調整委員会				
9	内水面漁場管理委員会	13	4	30.8	
	合 計	55	13	23.6	
	女性委員0の委員会数	2			